

広報

いちき串木野

愛がっぱいのまち

Ichikikushikino City

Public Relations



8

2019年8月20日発行
VOL.166

祝 神村学園
甲子園出場



Solaseed Air



「いちき串木野号」運行中！
鹿児島・東京・名古屋・沖縄

MACHI HITO GENKI まちひとげんき



～うるおうまちづくりへ～

生福地区まちづくり協議会では、豊かな住みやすい地域づくりのため、様々な事業に取り組んでいます。高齢者の生きがいづくりや、健康づくりなどを目的とした活動をはじめ、販売活動等での収入確保にも力を入れています。しかし、活動を進めていくなかで、人口減少や高齢者の増加などにより収入の確保が難しい現状に直面しています。

そんな中、地域住民で試行錯誤し、新たに「にんにく」の栽培と「黒にんにく」への加工などの6次産業化に向けた取組を始めました。

にんにくの栽培は他の作物に比べ、それほど手間がかからず、協議会会長の木場與一郎さんは「高齢者でも活動に参加しやすく、栽培から加工まで地域で協力して取り組みやすい」とその魅力を話します。

先進地を研修するなどし、今年の4月頃から本格的に加工活

動に取り組み始めました。特に、品質の均一化には力を入れているようで、乾燥の度合いなど何度も何度も試しては味を確認するという根気強い作業を続けています。



木場さんは「何度でも買いたいと思ってもらえる本当のいいものを作りたい。そのためには、常に同じものを提供しないといけない」と消費者目線で将来を見据えます。そのために、今年は栽培から加工までのノウハウを確立し、活動を継続していくためのマニュアル化を検討しています。

最近では努力の甲斐あって、徐々に味のよい黒にんにくができ

『生福地区まちづくり協議会』

始めているそうです。今はまだにんにくの安定供給に向けて設備や道具、農地が足りず、地域内の注文にも生産が追いつかない状況ですが、来年度以降は徐々に設備を整えながら、販路拡大も視野に入れているとのこと。

今後、栽培する農地が広がれば、地域の荒れた農地の解消にもつながり、現在行っている作業も徐々に地域全体で取り組めるようになります。「にんにくパワー」で、地域にうるおいが生まれ、住民同士の繋がりをより深める、生福地区の取組が地域への活力として注目されます。



9月1日の生福市で初めて地域外への販売を行います。完成した黒にんにくを、ぜひ、みなさんもお賞味ください。



梅雨の晴れ間の摘果作業♪
～おごじょみかん隊～(7月12日)

梅雨とは思えない、気持ちのいい青空が広がっています。絶好の農作業日和！日焼け対策万全で集まったおごじょ達は、熱心に摘果作業を学びます。

「温州みかん」と「サワーポメロ」。同じ果樹でも摘果作業は同じではありません。「温州みかん」は、消費者から小玉が好まれる傾向にあり、あまり大きな玉をつくりすぎない工夫を、一方「サワーポメロ」は少しでも大きな玉を作る工夫をしながら、摘果作業をしています！

「プチン、プチン」と次々に果実を切り落としていくのは、とても気が引けますが、安定生産と品質向上のためには、とても大事な作業なのです。



温州みかん♪



サワーポメロも

比較研究をしてみよう♪ポメロの袋かけ作業



初めての試みでサワーポメロの袋かけ作業にも挑戦♪袋をかけないサワーポメロと比較して、見た目と味がどう変化するか…？比較研究です！果実の成長がとても待ち遠しいおごじょ達でした。

～棚田 de 除草体験～(7月24日)



待ちに待った梅雨明け宣言！荒川の棚田には、爽やかな夏の風が吹き抜けています♪

田植えから約1か月。棚田の稲は順調に育っています♪

今回、おごじょ達が体験したのは、昔ながらの「手押し田車」による除草作業。手押し田車は、稲株の間を、ツメの付いた歯車を押し回すことで、ツメに草が引っかかって抜けるしくみになっています。

おごじょ達は、田車を力いっぱい押しながら、稲と稲の間を何度も何度も往復します…。地味ですが思った以上に大変な作業です(>_<)。

「秋には美味しいおごじょ米が実りますように…」と、青空に願いながら汗を流すおごじょ達でした。



気合ばっちり！未来のおごじょ。うまく前に進めるかな？



今では骨董品!? 木製の田車

食彩だより

海・山など自然に囲まれ、様々な食材・食文化に恵まれたいちき串木野市の食に関わる情報をお伝えします！

農政課(☎33-5635)

鹿児島県の郷土料理 ～お盆編～

令和になって初のお盆。皆さんどのように過ごしましたか…？

昔は、お盆といえば、お正月と並んで親戚一同が集まる大イベントでした。ご先祖様をしのび、精進料理を準備するために、各家族で2～3日前から料理の仕込みに大忙しだったそうです。お盆料理は旬の夏野菜をたっぷり使ったものが多く、体に優しいものばかり！ぜひ、今夜のレパートリーに加えてはいかがでしょうか？

お盆料理の定番！
「かいのこ汁」



【材料 (4人分)】

- ・大豆(乾燥) 40g
- ・干しシイタケ 6g
- ・油揚げ 15g
- ・ごぼう 40g
- ・ナス 20g
- ・みそ 50g
- ・野菜昆布 10cm
- ・キクラゲ 5g
- ・こんにゃく 80g
- ・カボチャ 60g
- ・ニンジン 20g
- ・だし汁 3カップ

【作り方】

- ①大豆は、前日水につけてもどしておく。
- ②野菜昆布は洗って千切りにしておく。シイタケ、キクラゲも水につけてもどしたら細かく切っておく。
- ③油揚げは熱湯をかけて油抜きし、こんにゃくは塩でもみ、沸騰したお湯に入れてあく抜きする。
- ④ごぼうはささがきにし、油揚げ、カボチャ、ナス、ニンジン、こんにゃくは1cm角切りにする。
- ⑤だし汁に大豆と昆布を入れ、やわらかく煮えたら残りの材料を入れ、全部の材料が煮えたら、みそで味を調える。

「かいのこ汁」の名前の由来

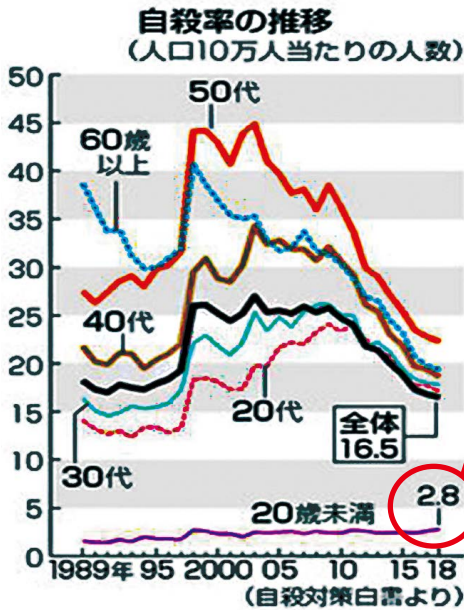
「かいのこ汁」という呼び名は、「粥の子」がなまったものです。これは、「粥の子」、つまりお盆のごちそうとしてお供えする白粥の子、添えものの意味からだといわれているそうです。

他にも、「ヘチマそうめん」や「鼻つまん団子」など、鹿児島に古くから伝わる盆料理はまだあります。鹿児島の古き良き伝統料理を、子ども達にもぜひ传承していきましょう！

お盆料理に大活躍のヘチマを食べる習慣があるのは沖縄と鹿児島だけなのです！

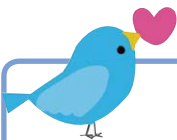


悩みをひとりで抱え込んでいませんか？



2018年の自殺死亡者は全国で2万840人でした。年々、中高年の自殺者数は減少傾向にある一方、20歳未満の自殺者率は前年と比べて0.2ポイント増で過去最高となりました。

自殺はひとつの問題から起こるとは限りません。20歳未満の自殺の原因がうつ病や学業不振だったとしても、その背景には親子関係の不和や親からの叱責、生活苦などいくつかの問題が複雑に関係しあっているのです。



自分の心の限界のサインに気づいていますか？

自殺につながる危険があるのはこんなとき

- これまで関心のあった事柄に対して興味がもてない
- 集中できなくなった
- いつも楽々できるような課題が達成できない
- 不安やイライラがひどくなった
- 身だしなみが気にならなくなった
- 健康や自己管理がどうでもいと思える
- 不眠・食欲不振・体重減少など身体の不調がある
- 友人との交流をやめて閉じこもりがち
- 乱れた性行動に及ぶ
- 自殺にとらわれ、自殺についての文章を書いたり、自殺についての絵を描いたりしている

自分なんかいないほうがいい

誰も助けてくれない

孤独だ



迷惑をかけるだけ

居場所がない

文部科学省「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」より一部引用

つらいとき、やってみてほしいこと



SOSを出す (助けを求める・相談する)

あなたが信頼できる「3人」の大人に相談し、助けを求めましょう。



逃げ道を知る・教えてもらう

「逃げ道はない」と思い込んでしまいがちですが、実は意外と逃げ道が。まずは誰かに話すことが大切です。



しっかり睡眠をとる

日中に眠気を感じたら睡眠不足のサインです。朝、きちんと太陽の光を浴びて起きることから始めましょう。

まちの話題



青少年交換留学生



ロータリークラブの「青少年交換留学生事業」で台湾に留学していた鹿児島情報高校3年の松元美羽さんが、約10か月の留学を終えて帰国しました。

留学中は、ホームステイをしながら現地の高校に通いました。初めは中国語が分からず英語でコミュニケーションをとっていたそうですが、徐々に中国語になじみ、わずか10か月でTOCFLのB1レベル(中国語検定2級程度)まで取得しました。また、松元さんは本市の「国際交流大使」として様々な機会にいちき串木野市をPRしたそうです。

元々、積極的で好奇心が強い性格とのことですが、留学して「話をすることに抵抗がなくなった。行ってよかった。また台湾で勉強したい」と話し、将来を見据えました。

串木野巨峰観光農園鋳入れ式



7月26日、生福地区にある串木野巨峰観光農園がオープンし、鋳入れ式が行われました。

今年は、4月から5月にかけて天候に恵まれたことで出来がよく、収穫量はおよそ5トンとなる見込みです。当日は、集まった子ども達や関係者がたわわに実った巨峰に鋳入れを行い、開園を祝いました。

珍しい野鳥 市内で巣づくり



(写真提供：有村修平さん)

環境省の絶滅危惧種に指定されている夏鳥「ブッポウソウ」が、羽島地域で繁殖活動をしています。

撮影した市内の野鳥愛好家の有村修平さんは、5月末にブッポウソウが飛来しているのを確認。この鳥は、その美しい姿から「森の宝石」ともいわれており、5月頃オーストラリアなどの南方から飛来し、本州、四国、九州などで8月頃まで繁殖し、その後9月頃には再び南方に飛び立つそうです。

有村さんは、「これまでも存在を確認することはあったが、市内での繁殖活動は初めてなので、来年も来てくれるよう、そっと見守ってほしい」と話しました。

高校生レストラン賑わう



7月20日、神村学園の調理コースとパティシエコースの生徒が地元食材などで作った料理を販売する「高校生レストラン」を同学園内生徒食堂で開きました。

当日は、生徒たちが考案した「令和御膳」を販売。各地の郷土料理を神村学園風にアレンジしたもので、地元の豚肉やぼんかんソースなどを使ったものやデザートなど7品がきれいに盛り付けられ、多くの人で賑わいました。

パティシエコース3年の林栄里菜さんと有村奈々さんは「自分たちで作った料理でお客さんが喜ぶのが嬉しい」と笑顔で話してくれました。

心に響く 吹奏楽の共演



7月7日、市民文化センターで「ジョイントコンサート IN いちき串木野」が開催されました。これは、神村学園が地域貢献活動の一環で初めて開催したもので、串木野中学校、串木野西中学校、市来中学校の各吹奏楽部も共演。演奏に参加した市来中学校3年の久徳凜さんは、「神村学園と共演でき、練習の成果も出せたので、とても楽しかった」と笑顔で話しました。

七夕飾りづくり



7月7日、中央地区まちづくり協議会がドリームセンターで七夕飾りを作りました。子ども達や保護者、住民など約140名のほか、海外からの留学生4名も参加し、協力して様々な飾りで合計6本の七夕飾りを製作しました。出来上がった七夕飾りは旭町ロータリー、ドリームセンターなどに飾られました。

夏の風物詩 六月燈 賑わう



7月20日、旭地区の六月燈が旭小学校体育館で行われました。山之神神社氏子会が毎年開催しており、旭小学校児童による石当節、ダンスなど、地域手作りの催しが披露され、訪れた観客は手拍子するなど、一緒になって楽しみました。

親子サーフィン教室



7月15日、海の日に照島海岸で親子サーフィン教室が開催されました。参加者は60名を超え、サリナス市から本市を訪れていた高校生も参加しました。風の影響で波が高く、何度も波にのまれながらも、うまく乗ると最高の笑顔を見せていました。

夏本番 プール開き



7月20日、長崎鼻海水プールと、市来ふれあい温泉センター隣の市民プールがオープンしました。この日は、マーメイドパフォーマーの演出やスーパーボールつかみ取りも行われ、多くの子ども達が楽しみました。プールの営業は8月31日までです。

100歳おめでとうございます



7月1日に上原重弘さん(湊小路)が、100歳の誕生日を迎えられました。上原さんには、市からお祝いの花や記念品などを贈呈しました。現在、本市の100歳以上の方は28名(7月1日時点)です。いつまでもお元気で長生きしてください。



神村学園 2年ぶり5回目 夏の甲子園出場



壮行会の様子

神村学園高等部男子硬式野球部が、第101回全国高校野球選手権大会(夏の甲子園)に出場しています。

鹿児島大会78校70チームの頂点に立ち、甲子園に挑みます。選手達は日頃の練習などでも、五感を感じることに意識して取り組み、試合感を磨いているとのこと。切れ目のない打線、固い守備を武器に、支えてくれる思いに応えるため、甲子園ではその光るプレーで、チーム一丸で臨みます。

8月1日には、市役所と神村学園でそれぞれ壮行会が行われ、小田大介監督は、「甲子園で勝つという目標に向かって全員で取り組んでいきたい」と話し、松尾将太主将は、「前回のベスト16を1つでも2つでも超えて、いちき串木野に帰ってきたい」と抱負を語りました。



甲子園でのユニフォームには、右袖に「いちき串木野市」の文字が入り、熱戦に臨みます

市P連ミニバレーボールで 羽島中PTAが連覇



2連覇を果たした羽島中学校PTAの皆さん

PTA 会員相互の融和と PTA 活動の充実・発展を目的に、第2回市P連ミニバレーボール大会が6月29日に開催されました。

当日は、16チームが参加し、各パートで熱戦が繰り広げられました。

涼しい音色が響く せせらぎフェスタ



8月3日、冠岳花川砂防公園で冠岳せせらぎフェスタが開催されました。

当日は、地元冠岳小学校のオカリナ演奏や早食い大会、キッズダンス披露、おにぎりの振る舞いなど、手作りのイベントで盛り上がりました。

会場では風鈴や燈籠が飾られ、訪れた来場者は心地よい風鈴の音色が響くなか、夏の暑さを和らげる楽しいひとときを過ごしていました。

2019いちき串木野PRレディ

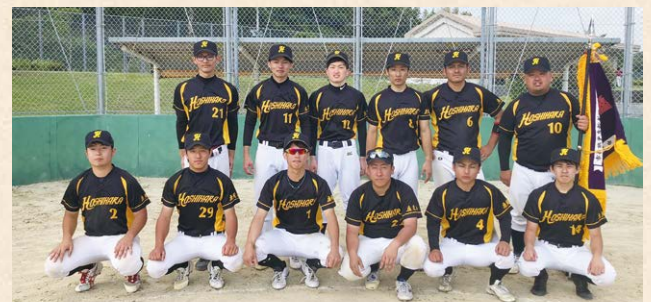


水流由絵さん 川畑亜美さん 谷口弥咲季さん

7月13日のさのさ祭り前夜祭で前任のPRレディから任を引き継ぎました。

任期は1年間で、各地で市をPRします。どうぞよろしくお願いいたします。

第14回市長旗争奪軟式野球大会



6月16日、多目的グラウンドで第14回市長旗争奪軟式野球大会が開催され、参加した8チームが熱戦を繰り広げました。

- 優勝 星原運送
- 準優勝 いちき串木野市役所

市政 CIVIC NEWS ニュース

市ではこんなことをしています



燃ゆる感動がごしま国体・かごしま大会 協賛企業へ感謝状贈呈

市民スポーツ課(☎21-5120)



燃ゆる感動がごしま国体・かごしま大会いちき串木野市実行委員会に協賛いただいた、濱田酒造株式会社へ感謝状が贈呈されました。両大会成功に向け、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

市小学生水泳記録会

学校教育課(☎21-5127)



7月24日、串木野小学校プールで各小学校5・6年生の代表が参加し、市小学校水泳記録会が行われました。

児童は日頃の練習を活かし、大きな声援に後押しされながら一生懸命に泳いでいました。

○結果 男子200mリレー 優勝 串木野小A
女子200mリレー 優勝 串木野小A
5年女子50m自由形 39秒4(新記録)
串木野小学校 竹之内莉穂さん

子ども達の交通安全に 横断中旗の寄贈

教育総務課(☎21-5126)



7月17日、鹿児島県板金塗装工業協同組合日置・串木野支部から横断中旗40本が贈られました。

これは、同組合が創立60周年を記念して、登下校中の交通事故防止に役立ててほしいと、寄贈されたものです。市内各公立小中学校へ配布しました。ありがとうございました。

特定健診受診率 全国7位

健康増進課(☎33-5613)



本市の平成29年度の特定健診受診率は60.6%でした。これは、全国の市と区を併せた814の国民健康保険者の中で全国7位となり、厚生労働大臣から表彰されました。

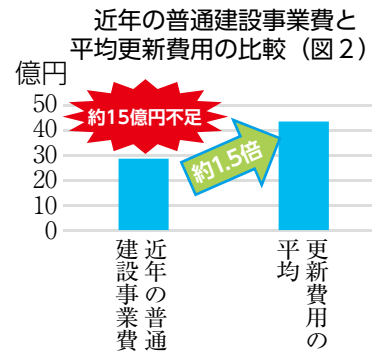
まちづくり協議会や地域の皆様の特定健診受診への取組が結果となったものです。

これからも、健康状態を確認するために、年に1回の特定健診を受診しましょう。

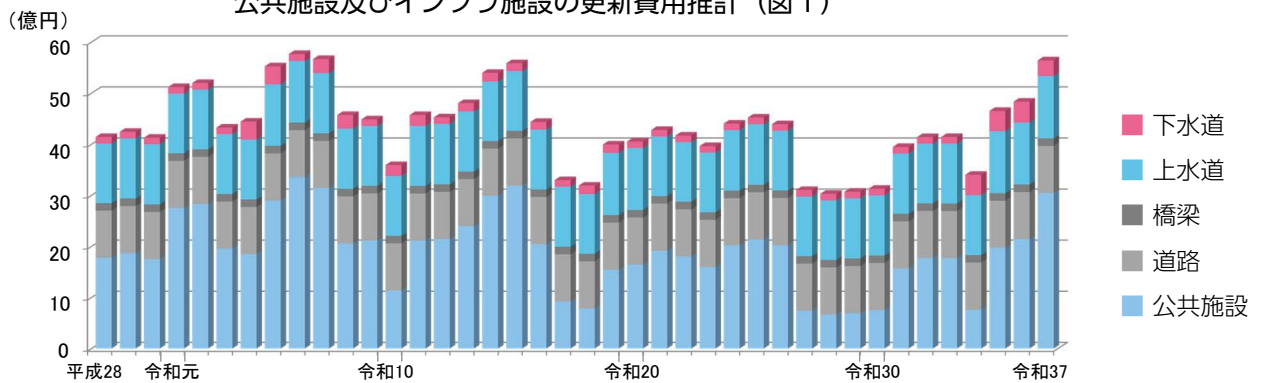
今回は公共施設の『維持出来ない』についてお知らせします。いちき串木野市は、市民一人当たりに換算すると6.12㎡、全国平均の約1.9倍の公共施設を保有しています。ではこの公共施設を全て維持していくと、どのくらいの費用がかかるのでしょうか。

本市が所有する公共施設及び道路、上下水道などのインフラ施設全体の更新費用は、40年間で1,739.5億円(図1)、1年あたりに換算した場合、43.5億円の負担が生じることが見込まれます。

今後、必要とされる更新費用に対し、近年の普通建設事業費の1年平均は28.6億円で、毎年約15億円が不足(図2)することからすべての公共施設等を維持していくことは困難であると見込まれます。



公共施設及びインフラ施設の更新費用推計(図1)



8月と12月は県下一斉国保税滞納整理強化月間です

税務課(☎33-5615)

国民健康保険制度を支える貴重な財源である国保税の納付を促進するため、県と連携し、令和元年度も「県下一斉国保税滞納整理強化月間」を設けます。

納期内納付への皆様のご理解とご協力をお願いします。

○期 間 8月・12月

○取組内容

・財産、実態調査に基づく滞納処分の強化

納期限内に納付がなく、再三の納付催告(催告書、電話、訪問等)にもかかわらず、納税に対する誠意がみられない、あるいは納税を拒否する、納税誓約を守らない滞納者に対し、搜索(※1)を含め、財産調査を徹底して行い、預金や不動産のほか、給与や生命保険、自動車、動産(※2)などの差押えを更に強化します。

※1 滞納者の住居や店舗などに立ち入り、差し押えるべき財産を捜すことで相手の意志にかかわらず行う強制調査。平成30年度は11件実施。

※2 日常生活に不可欠な衣服や家具など、法律で差押えが禁止されているもの以外のもの。テレビ等家電製品、腕時計など。

・滞納者への行政サービスの制限

市では、納税者の公平性を確保するため、滞納者に対し、行政サービスの制限を設けています。例えば、市営住宅の新規入居の制限、国民健康保険証の有効期限の短縮、高額療養費の支給制限などです。

○安心便利な口座振替を！

口座振替制度は、税金等の納め忘れがなく、納期ごとに納めに行く手間がかからず便利です。

申込みは、口座振替を始めたい納期月の前月20日までに通帳と届出印・納税通知書を持って、市内の各金融機関で申し込んでください。

※納付が困難な場合や納税相談が必要な場合は早めにご連絡ください。

○問合せ 税務課収納係



強制調査の様子

令和元年 10月1日から 幼児教育・保育の無償化が始まります

福祉課(☎33-5618)

幼児教育の重要性や幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点から幼児教育・保育の無償化が始まります。

幼稚園は3歳になったら、その他の保育園等(幼稚園の預かり保育含む)は、3歳児クラス(3歳になった後の最初の4月以降)から保育料等が無償となります(市民税非課税世帯の0～2歳児も対象)。



利用施設		保育の必要性	対象者	無償化上限額(月額)
① 認可保育所 幼稚園等	認可保育所 認定こども園(保育園部分) 地域型保育事業	必要	市民税非課税世帯の 0～2歳児	全額
	幼稚園(新制度幼稚園) ※市内すべての幼稚園	不要	満3～5歳児	
	幼稚園の預かり保育 (認定こども園幼稚園部分を含む)	必要		11,300円
② 認可外保育 施設等	認可外保育施設 ベビーシッター 一時預かり事業 病児保育事業 ファミリーサポートセンター事業	必要	市民税非課税世帯の 0～2歳児	42,000円
			満3～5歳児	37,000円

○①と②の施設は併用しても、無償化の対象は原則①のみです。

○②の施設、事業を複数併用して利用する場合は、合計金額が上限額に達するまで無償化の対象です。

○通園送迎費、食材料費、行事費などは、これまでどおり保護者の負担になります。

○3～5歳児で保育園・認定こども園(保育園部分)を利用の方の副食費(おかず・おやつ等)については、保育施設等での徴収に変わります。ただし、次の場合は、副食費の費用が免除されます。

- ・年収360万円未満相当世帯の子ども
- ・全ての世帯の第3子以降の子ども

無償化を受けるための必要な手続きについて

○現在、認可保育所・認定こども園・幼稚園に通っているお子さんについては手続き不要です。ただし、認定こども園・幼稚園に通っていて預かり保育を利用している方は、申請が必要になります。必要な申請書や添付書類は各認定こども園・幼稚園で配布しますので、添付書類を添えて提出してください。

○認可外保育施設等を利用しているお子さんについては、申請が必要になります。詳しくはお問い合わせください。